

2009 年 12 月 14 日

報道関係各位

中部学院大学

全国大学対抗簿記大会優勝、岐阜県民栄誉賞受賞の3名 税理士試験に科目合格を果たしました

中部学院大学 経営学部 会計プロフェッショナルコースで学ぶ現役大学生3名が、本年度の税理士試験（8月4日－6日実施）において、超難関といわれる科目合格を果たしました。齋藤亮、山之口真二（ともに4年）は、前年度の簿記論に続き、本年度は財務諸表論に合格、奈須翔平（3年）は簿記論に合格しました。3名はともに、**全国大学対抗簿記大会の団体戦での優勝経験があり、齋藤、山之口は個人戦1級の部でも全国制覇**しています。3人は同大会の成績が高く評価され、**2008年度岐阜県民栄誉賞を受賞**しました。

税理士資格は、会計学2科目（簿記論、財務諸表論）と、税法3科目（所得税法又は法人税法は必須、相続税法、消費税法又は酒税法、国税徴収法、住民税又は事業税、固定資産税から1科目選択）の5科目を合格したのに対して与えられます。

合格した3名は、中部学院大学短期大学部経営情報学科会計プロフェッショナルコース（中部学院大学経営学部に発展改組のため廃止済）に入学し、森均教授を中心とする優れた講師陣の指導を受け、めきめきと実力をつけてきました。

税理士試験において昨年度の実績では、受験者数51,863人のうち、大学在學生は2,780人と非常に少なく、**大学在學生の合格者数は561人（総受験者における合格率1.08%）**という超難関な試験です。（受験者数、合格者数は国税庁HPより）

本学においても、税理士科目の2科目合格者は齋藤、山之口が初めてであり、今回の快挙に学内外から賞賛の声が上がっています。簿記・会計学を学ぶ学生たちにとっては大いに刺激となっており、「先輩に続け！」とばかりに普段に増してキャンパスは熱気を帯びています。

【合格者のコメント】

■ 齋藤亮

取りこぼしが命取りになると思いましたが、時間配分がうまくできて、しっかりと得点を重ねることができました。公認会計士の合格を目指していますが、来年5月の短答式試験では今回の「財務諸表論」合格と昨年の「簿記論」合格により、「財務会計論」が免除されるので、何とか合格して、論文式につなげたいです。

■ 山之口真二

昨年、財務諸表論はA判定で合格できなかったのですが、今年は何としても合格したい思いで取り組んできました。来年8月の税理士試験まで気持ちを維持していくのは大変ではありますが、一通りの勉強を重ねていながら、気持ちを高めて税理士の資格が取得できるように努めていきたいです。

■ 奈須翔平

まず一つクリアができました。今年は難しい試験でしたが、確実に点を取れる問題を優先しながら解いていったので、いい結果を残せることができたと思います。先生から「継続できたものが最終的に勝てる」と教わり、これからも継続できる勉強体制を築いていきたいと思っています。

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学 事務局 (担当: 田口 事務局次長) TEL: 0575-24-2211 (関キャンパス)